

自治体名	福井県おおい町	人口	7,676人	事業費	1,609千円
事業概要	現在、住民健診の申込みは、申込書と電話で受け付けているが、WEB予約システムを新たに導入することで、住民の利便性の向上や業務効率化を目指す。 ・住民の世代や生活スタイルに合わせて健診の申込み方法を選択することができ、申込みのハードルが下がる。 ・WEB、電話、申込書からの予約情報を一元管理することができ、効率的な予約管理が行える。				
具体サービス	【住民健診WEB予約システム】 ・24時間いつでも予約や変更が可能なため、住民のライフスタイルに合わせて申し込むことができる。 ・対象者情報を健康管理システムと連携させることで、受診資格を確認でき、対象となる健診のみ予約できる。（申込誤りを防げる。） ・健診ごとの定員設定や、受付時間枠の管理が可能で、健診時の混雑解消につながる。 ・Web、電話、申込書からの予約情報を一元管理し、申込みだけでなく変更やキャンセル情報も同じデータベースで管理することで、効果的な予約管理が行える。				
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①WEB予約システムの利用者数 ② ③		【アウトカム指標（成果指標）】 ①がん検診受診率（5がん平均・70歳未満） ② ③		

サービス内容（政策目的への適合性）

■ 事業の実施によって解決を図る課題及び実現したい地域像

■ 事業の実施によって解決を図る課題

町の課題として、特に若い世代の特定健診受診率・がん検診受診率が低く、申込書を郵送することの煩雑さや、平日の昼間に電話しなければ申し込めないことが、その一因ではないかと考えられる。

また、現在、住民健診の予約は、申込書の郵送や電話で行っているが、申込内容は職員が健康管理システムに全て手入力しており、入力作業に膨大な時間がかかっている。入力作業に時間を要するため、予約状況をリアルタイムに把握することができず、定員管理や住民からの問い合わせ対応にも支障を来している。

■ 事業の実施により将来的に実現したい地域像

WEB予約システムの導入により、さまざまな世代やライフスタイルのニーズに合わせて申込方法を選択できるようになり、特に若い世代ではWEB予約を利用する方が増えることが予想され、健診受診率の向上につながる。

また、本システムを導入することで、WEB申込み分の入力作業の削減、予約状況の迅速な把握、予約情報の一元管理等ができるようになり、定員管理や住民からの問い合わせに対する確実な対応体制を構築する。

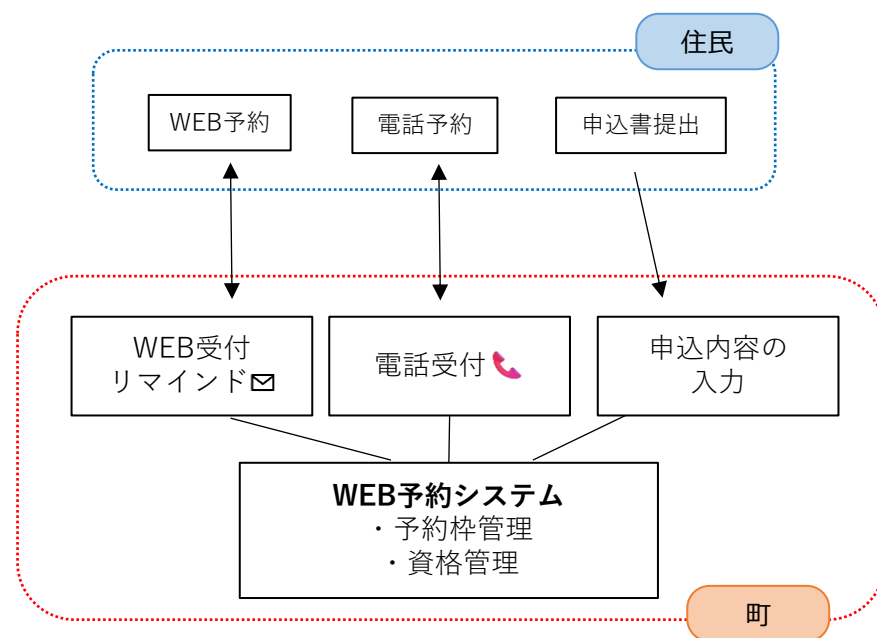
本システムの導入については、現在策定中のおおい町版総合戦略である「第3次おおい町未来創生戦略」に位置付けることを予定しており、住民の健診受診率の向上、疾病の予防・早期発見、健康意識の向上につなげたい。

サービス概要（1/1）

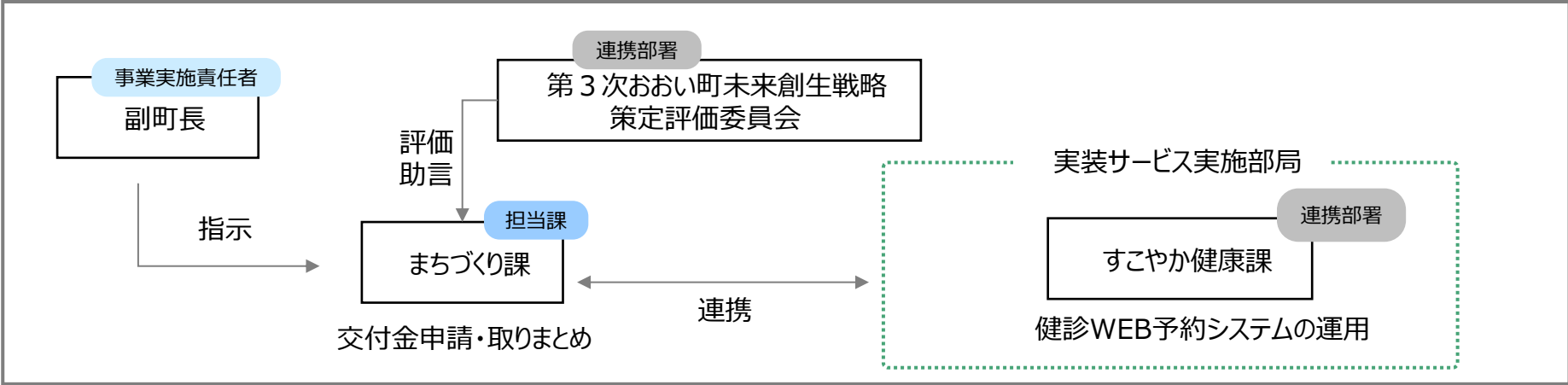
サービス名	住民健診WEB予約システム	事業費	1,609千円
ターゲット	幅広く住民全体を対象とするが、比較的若い世代（20～50歳代）をメインターゲットとする		
サービス内容			

町のがん検診や特定健診等をオンラインで予約することが可能な「住民健診WEB予約システム」を導入する。

- パソコンやスマートフォンから、24時間いつでも健診の予約、変更、キャンセル等が可能となり、住民の利便性が向上する。
- 従来の申込書・電話による申し込みと、WEB予約を併用することで、住民が自分の生活スタイルに合わせた申込方法を選択できるようになる。
- 対象者情報を健康管理システムと連携させることで受診資格が確認でき、対象となる健診のみ予約できる。
- 健診ごとの定員設定や、受付時間枠の管理ができるため、健診時の混雑解消につなげることができる。
- WEB・電話・申込書からの予約情報を同じシステムで管理することで、予約状況を一元的に管理することができ、事務の効率化につながる。



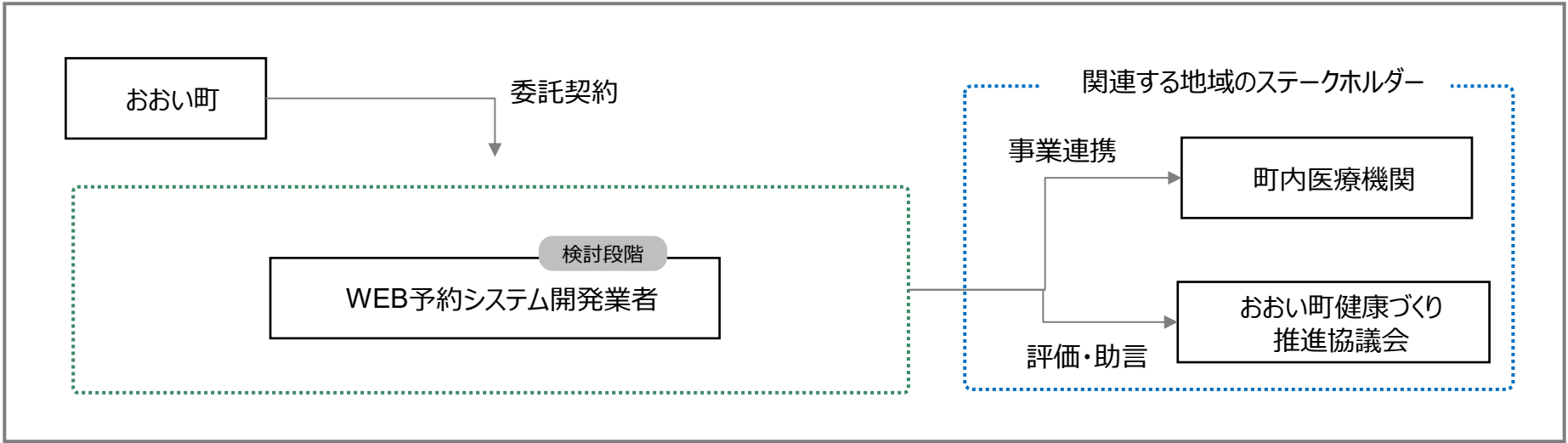
■ 庁内の推進体制



【各課室の役割】

名称	名称	役割
事業実施責任者	副町長	事業全体のマネージメント・進捗管理
事業担当課	まちづくり課	関連部署との調整、広報紙での広報
連携部署	すこやか健康課	システムの調達、業務フローの検討、住民健診事業を所管
連携部署	第3次おい町未来創生戦略策定評価委員会	事業に対する評価・助言

■ 事業推進体制



名称	役割
おい町	- 事業計画の立案 - 報告書作成をはじめとする事業全般の管理
WEB予約システム開発業者	WEB予約システムの提供

名称	役割
町内医療機関	WEB予約システムの周知協力
おい町健康づくり推進協議会	WEB予約システム導入に対する評価・助言

サービス内容(政策目的への適合性)：アウトプット指標(活動指標)とその効果検証

■ アウトプット指標：事業の成果を複数年にわたって計測するためのKPI（3カ年分）

6

KPI①	WEB予約システムの利用者数	種別	アウトプット	単位	人
KPIの概要、測定方法	WEB予約システムを利用して健診を申し込んだ人数。システムの管理者サイトで確認し測定する。 （2025年度末のKPIが設定できない理由：2025年度末にシステムを実装するが、2026年度の健診の周知は2026年4月以降に実施し、予約システムの利用も4月以降になるため。）				
事業成果等の計測に適する理由	WEB予約の利用者が増えることで、サービスが広く利活用されていると判断できるため。				
2025年度末(上段：目標／下段：実績)		2026年度末(上段：目標／下段：実績)		2027年度末(上段：目標／下段：実績)	
0		150		220	
0		－		－	

■ 達成のための取組内容や工夫

・2025年度末にシステムを実装したが、予約受付開始は2026年度の健診の申込からとなるため、2026年4月以降に実際の運用を始めた。そのため、1年目はK P Iを設定できなかった。業者と打ち合わせを重ね、予定通りシステムの実装が出来た。

■ 今後に向けた取組

・2026年4月以降、各世帯にW E B 予約システムの操作マニュアルを配布し、チラシやホームページ等でW E Bでの申込を促した。今後もW E B 予約システムを活用しながら利用者を増やしていけるように取り組んでいく

サービス内容(政策目的への適合性)：アウトカム指標(成果指標)とその効果検証

■ アウトカム指標：事業の成果を複数年にわたって計測するためのKPI（3カ年分）

KPI①	がん検診受診率（5がん平均・70歳未満）	種別	アウトカム	単位	%
KPIの概要、測定方法	町で実施している5つのがん検診（胃・肺・大腸・乳・子宮頸がん）の平均受診率（70歳未満）。WEB予約システム導入前と比較して、がん検診受診率が向上したか比較する。				
事業成果等の計測に適する理由	検診受診率は、住民の健康意識の高さを評価できる指標であると考えられるため。				
2025年度末(上段：目標／下段：実績)		2026年度末(上段：目標／下段：実績)		2027年度末(上段：目標／下段：実績)	
65.0		66.0		67.0	
未計測		－		－	

■ KPIを計測できなかった理由

- ・がん検診は毎年、年度末まで実施し、年度が替わってから受診率の計算をするため、記入日時点で1年目（2025年度）の受診率が公表されていない。例年秋頃までに公表されるため、結果を確認しながら評価を進めていく。

■ 今後に向けた取組

- ・がん検診受診率で評価を実施していくが、1年目の評価については、まだサービス運用前のため効果検証としてはあまり意味がない。WEB予約システム導入による効果の評価については、2年目以降の数値で評価を進めていく。

■ 運営計画（KPI達成のための中長期スケジュール）

年度の変更不可→	2025年度	2026年度	2027年度
住民健診WEB予約システムの改善・機能拡充	WEB予約システム実装	アンケート等を通して、住民のニーズや改善点を把握	2026年度の課題を改善し、継続していく
利用者増に向けた周知広報	公式HP、町広報紙等を通じた周知		
ユーザー獲得に向けた周知広報	チラシ全戸配布	チラシ全戸配布	